

請願番号	請願第13号	受理年月日	平成20年12月5日
請願の件名	<p>社会保障の拡充により保険者の育成・強化を行い国民皆保険制度の維持を求める請願書</p> <p>請願の趣旨</p> <p>高齢化社会を迎え、医療費の増大が喫緊の課題となっています。しかしながら、GDPに占める日本の医療費の割合は、8.2%と低く、逆に国民皆保険制度を持たないアメリカについては、高齢化の割合が先進国の中でも低いにもかかわらず、GDPに占める医療費の割合は先進7カ国中最も高い15.3%となっています。また、医療費の増加は、人口増減・高齢化によるものより、自然増（医療の高度化等）の方がそれを上回っています。</p> <p>そのような中、世界から賞賛される我が国の国民皆保険制度は、それぞれの就労状態に合わせて作り上げてきた現在の保険者機能、健保組合・船員保険・協会けんぽ・共済健保・国保組合・市町村国保が、各保険者ともその加入者に合わせた独自性を発揮するとともに、相互に各保険者を支えあい47年間に渡る日本の皆保険制度を守っています。</p> <p>つきましては、下記の事項を内容とする意見書を国及び関係機関に対して提出していただきますよう請願いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 国民が今後も安心した医療を受けられるよう、現行の保険者制度を堅持・強化していくこと。</p> <p>2. 社会保障費における国の負担を減らさないこと。</p>		
紹介議員	<p>水間 篤典 黒木 覚市 米良 政美 外山 良治 長友 安弘 松田 勝則 前屋敷 恵美 井上 紀代子</p>		
摘要			